

## 日光白根山の火山活動解説資料（平成 26 年 11 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）  
歌ヶ浜遠望カメラ（日光白根山の南東約 13 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。
- ・地震活動（図 2 - 、図 3）  
今期間、火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）  
GNSS<sup>注</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 日光白根山 山頂部の状況  
(11 月 21 日 歌ヶ浜遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月分）は平成 27 年 1 月 13 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

計数基準変更		
開始	2010年12月10日～2011年3月10日	計数基準：五色沢振幅 1.0 μm/s 以上、S - P1.5 秒以内
変更	2011年3月11日～2013年6月30日	計数基準：五色沢振幅 10.0 μm/s 以上、S - P1.5 秒以内
変更	2013年7月1日～	計数基準：五色沢振幅 2.0 μm/s 以上、S - P1.0 秒以内

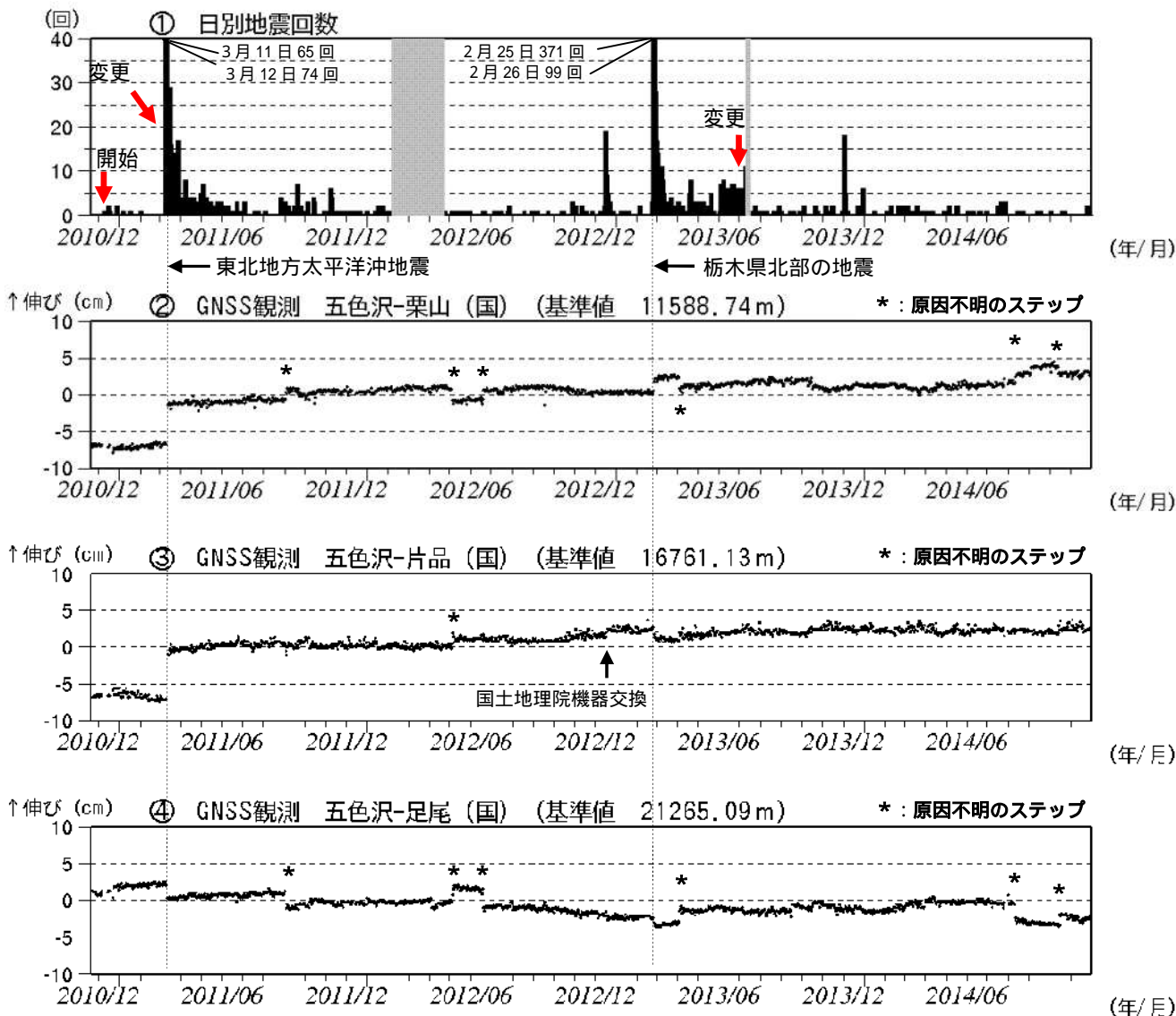
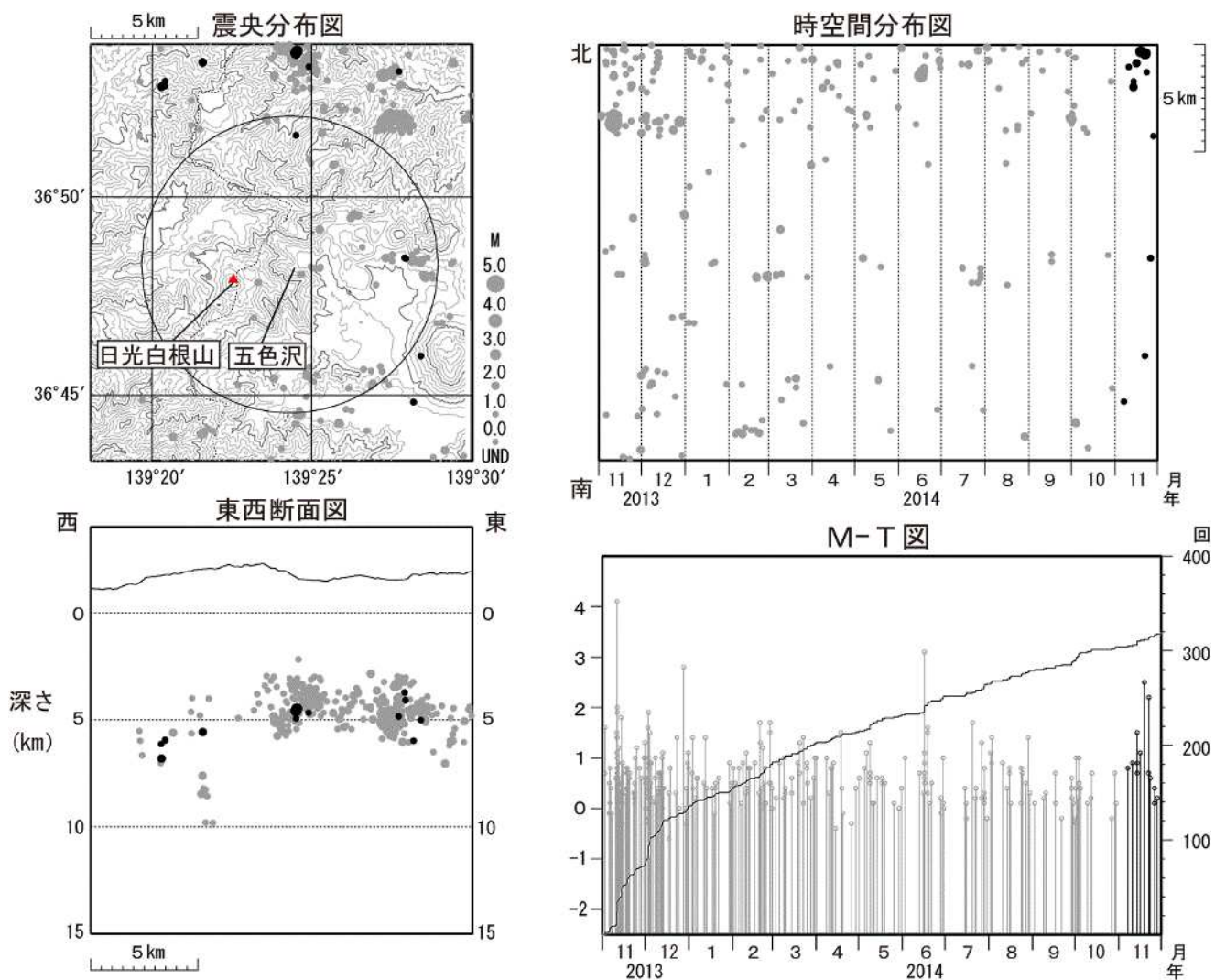


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010年11月20日～2014年11月30日）

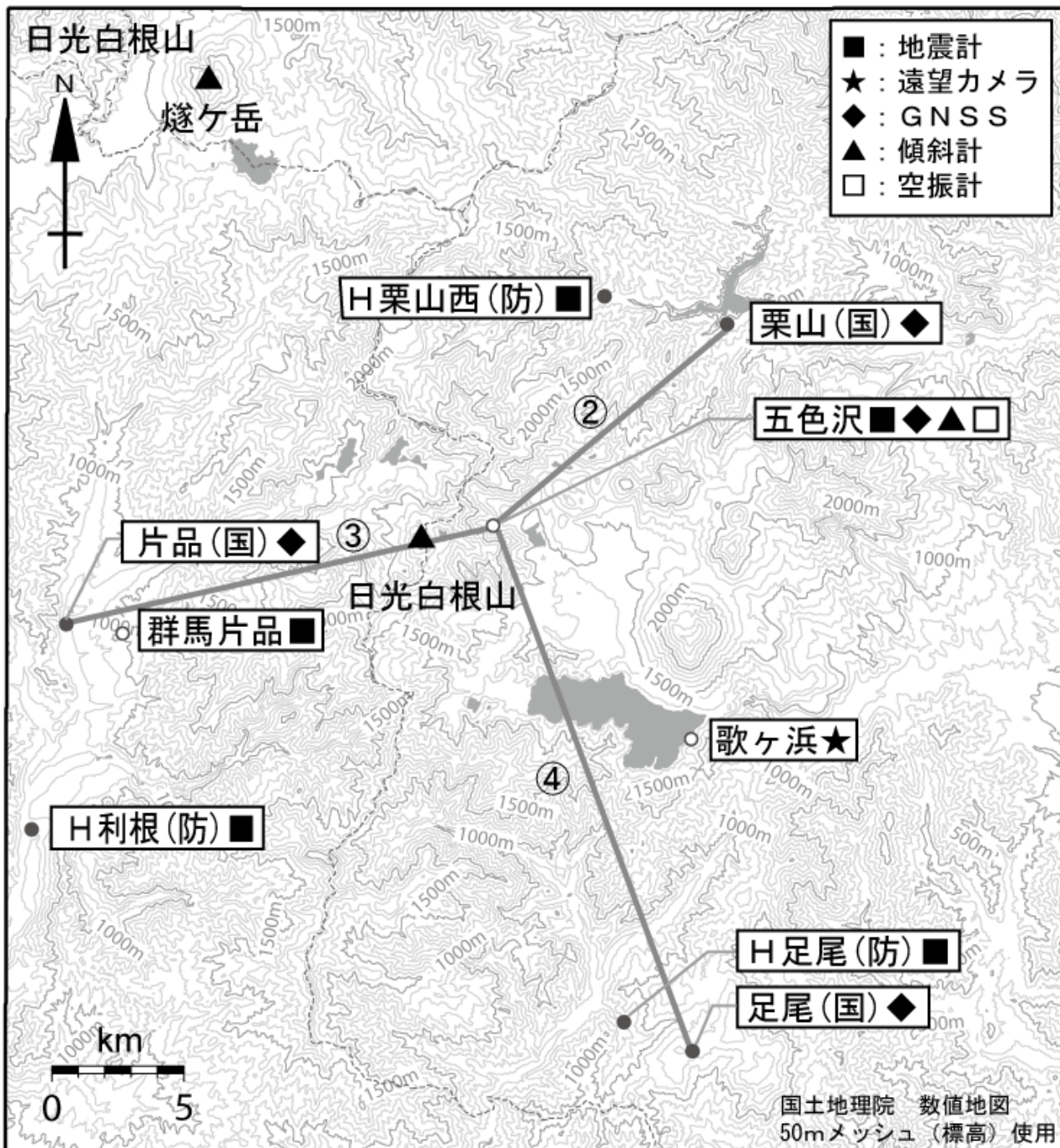
日光白根山周辺の日別地震回数

- ・ 2010年12月10日観測開始
- ・ 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
- ・ グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ～ GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院
- ・ 五色沢観測点の運用開始日：2010年11月20日
- ・ 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。
- ・ ～ は図4の ～ に対応しています。



: 2013年11月1日~2014年10月31日      : 2014年11月1日~11月30日

図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2013年11月1日~2014年11月30日)  
 ・震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(五色沢でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示します。  
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。  
 ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。  
 ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しました。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 （国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所

図4 日光白根山 観測点配置  
 GNSS 基線 ~ は図2の ~ に対応しています。